

パッヘルベルだって350年前は現代音楽だった

バロック音楽から現代音楽までを散りばめ一つの世界として提示する稀有なセンス

11歳で音楽の勉強をスタートし才能が一気に開花、15歳でリサイタルを開催

第22回朝日現代音楽賞、2004年パリU F A M国際コンクール第2位

福島県出身。11歳より作曲、14歳よりピアノの本格的なレッスンを始める。15歳でリサイタルデビュー。

日本唯一の現代音楽演奏コンクールである、第10回現代音楽演奏コンクール'競奏X'(朝日新聞社・日本現代音楽協会主催)において優勝を果たし、第22回朝日現代音楽賞及び聴衆賞を受賞。

その他、2004年U.F.A.M.国際音楽コンクール第2位(フランス・パリ)、第3回三善晃ピアノコンクール第1位及び三善作品特別賞、第9回チェコ音楽コンクール第1位、第12回フツペル鳥栖平和祈念ピアノコンクール第1位及び東洋新薬特別賞、などをはじめ国内外での数多くの受賞歴を持つ。また、第15回浜松国際ピアノアカデミーを受講。

イタリア、フランス、ドイツ、ルーマニアをはじめ、国内外での数多くのリサイタルに出演。演奏される機会の少ない作曲家や埋もれた作品にも光をあて、積極的に取り上げるユニークな活動を行っている。

そういった作品のレコーディングも積極的に行っており、カメラータ・トウキョウや299musicなどのレーベルからアルバムをリリース。

レパートリーは、バロックから現代まで幅広く、バロックから新作までを取り上げたシリーズ"PIANO EPOCH"を継続中。

これまでに50曲以上の新曲初演に携わり、国内外の作曲家への委嘱も数多い。独自の視点をもった若手ピアニストの一人として、これからの活動が大きく期待されている。



クラシック音楽と聞くと楽譜を正しく律儀に弾くものと思われていて、即興性や自由さなどは程遠いイメージを持つ方が多いかもしれません。

バロック時代には装飾や変奏が行われるのは習慣として当たり前でしたが、シューベルトやショパンもそうでしたが、ロマン派までの多くの作曲家は即興演奏に秀でていました。

また、ドヴォルザークのエモレスクは彼が何気なくスケッチに書き留めていた楽想を用いた作品です。世界初演になる中川俊郎さんの"断編残簡"も一つ一つはとても短いですが、偶然降ってきた音を掴みとり書き留めたような、構成や構築とは無縁の美しさがあります。

今回のプログラムでは、パッヘルベルや中川さんの"19の展開"に見られるヴァリエーション(変奏)や、即興的なキャラクターピースに焦点を当てました。バロックから現代までの対比を楽しんでいただけたらと思います。

佐藤 祐介

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

■交通アクセス

地下鉄栄駅⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業